

④ 中高 国語科問題の解答について (注意)

1. 問題【1】～【2】【3】～【8】、【11】、【12】、【3】、
 【4】、【2】～【4】、【5】、【6】の解答は別紙のマークシートに
 問題【2】、【11】、【9】、【10】、【4】、【11】、【5】、【6】の解答は解答用紙に
 記入すること。

2. 問題【1】～【2】【3】～【8】、【11】、【12】、【3】、【4】、【2】～【4】、【5】、【6】の解答(マークシート使用)については、次の点に注意すること。

- ① マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
- ② 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照)

消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。

- ③ 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
- ④ 名前の記入 名前を記入すること。
- ⑤ 教科名の記入 教科名に「国語」と記入すること。
- ⑥ 解答の記入 ア. 【1】～【2】 【3】～【8】、【11】、【12】、【3】、【4】、【2】～【4】、【5】、【6】の
 小問の解答番号は1から36までの通し番号になっており、例えば、10番を 10 のように表示してある。

イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。

ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。

エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

フリガナ	コウベ タロウ
名前	神戸 太郎

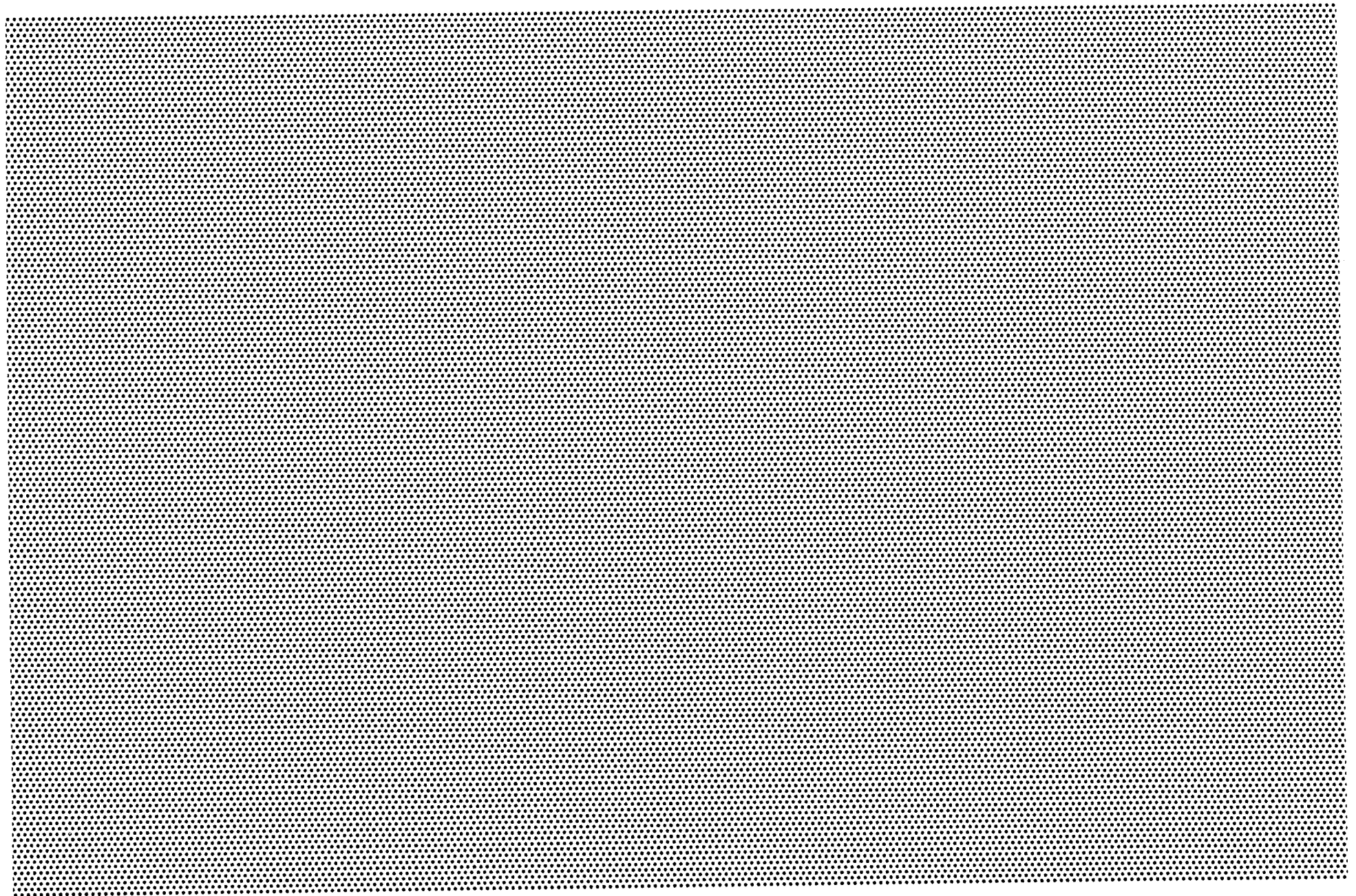
教科名	国語
-----	----

小問番号	解答記入欄										小問番号	解答記入欄										小問番号	解答									
	1 - 25											26 - 50											51									
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0						
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0						
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0						
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0						
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0						
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0						
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0						
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0						
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0						
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0						
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0						

受験番号				
フリガナ	名前	フリガナ	名前	フリガナ
1	2	3	4	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

- 3. 解答用紙は、キリトリ線で切り離して使用すること。
- 4. 解答用紙に受験番号を記入すること。

数字で記入……



【1】「学習指導要領解説特別の教科 道徳編」(平成29年7月 文部科学省)に記載されている道徳教育と道徳科について、次の問いに答えよ。

(1) 小学校(中学校) 学習指導要領解説特別の教科 道徳編(平成29年7月 文部科学省)における道徳教育の目標に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 学校における道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための道徳性を養うことを目標とする。
- ② 学校における道徳教育は、社会の変化に対応しその形成者として生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっている。
- ③ 道徳教育は、学校や児童生徒の実態などを踏まえ設定した目標を達成するために、道徳科はもとより、あらゆる教育活動を通じて、適切に行われなくてはならない。
- ④ 各教育活動での道徳教育は、その特質に応じて意図的、計画的に推進することが大切であるが、相互に関連を図ることは適当ではない。
- ⑤ 学校における道徳教育は、児童生徒の発達段階を踏まえて行われなければならない。

1

(2) 次の文は、小学校(中学校) 学習指導要領解説特別の教科 道徳編(平成29年7月 文部科学省)における道徳科の目標に関する記述の一部である。次の(ア)～(ウ)に入る語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様に(ア)ための基盤となる道徳性を養うことである。その中で、道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の(イ)としての役割を果たすことができるよう、計画的(ウ)な指導を行うことが重要である。

- ① (ア) よりよく生きる (イ) 要 (ウ) 応用的
- ② (ア) よりよく生きる (イ) 要 (ウ) 発展的
- ③ (ア) 主体的に生きる (イ) 要 (ウ) 応用的
- ④ (ア) よりよく生きる (イ) 中枢 (ウ) 発展的
- ⑤ (ア) 主体的に生きる (イ) 中枢 (ウ) 系統的

2

(3) 小学校 (中学校) 学習指導要領解説特別の教科 道徳編 (平成29年7月 文部科学省) 「第3章 道徳科の内容」では、指導すべき内容項目をA B C Dの4つの視点で分類整理し、その内容を端的に表す言葉で付記したものを見出しにして、内容項目ごとの概要、指導の要点を示している。次に示す5つは、内容項目の見出しである。このなかで「B 主として人との関わりに関すること」の視点に分類されるものはどれか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 公正、公平、社会正義
- ② 家族愛、家庭生活の充実
- ③ よりよい学校生活、集団生活の充実
- ④ 礼儀
- ⑤ 生命の尊さ

【2】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(設問の都合で原文の一部を省いた。)

※句読点、記号は、すべて一字に数える。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

一 傍線部 a、b、c、f のカタカナを漢字に直せ。(解答用紙に記入せよ。)

二 傍線部 d、e、g の漢字の読みをひらがなで書け。(解答用紙に記入せよ。)

三 傍線部①「よいひと」とはどんなひとをいうのだろうか。」とあるが、「よいひと」についての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 社会生活をよりよくするために尽力し、寛容の精神に基づいて行動することができる人物。
- ② 社会のきまりを遵守し、かつ自分自身で選んだ生き方に誇りを抱くことができる人物。
- ③ 常に自己を向上させようとして努力を続けるとともに、創意工夫を欠かさない人物。
- ④ 共同生活をより充実したものにするため、守るべき行動規範に率先して従おうとする人物。
- ⑤ 世間のきまりや環境に左右されることなく、自分自身で選んだ生き方を貫こうとする人物。

4

四 文中の空欄 I ～ III に入る語句として適切なものを①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ① たとえば
- ② これにたいして
- ③ だから
- ④ だが
- ⑤ あるいは

I	5	II	6	III	7
---	---	----	---	-----	---

五 《A》～《F》に入る言葉の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 《A》倫理 《B》道徳 《C》倫理 《D》道徳 《E》倫理 《F》道徳
- ② 《A》道徳 《B》倫理 《C》倫理 《D》道徳 《E》倫理 《F》道徳
- ③ 《A》道徳 《B》倫理 《C》道徳 《D》倫理 《E》道徳 《F》倫理
- ④ 《A》倫理 《B》道徳 《C》道徳 《D》倫理 《E》道徳 《F》倫理
- ⑤ 《A》道徳 《B》倫理 《C》倫理 《D》道徳 《E》道徳 《F》倫理

8

六 文中の空欄 一 ※ 一 に入る慣用表現として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 隗わいより始めよ
- ② 君子危きうきに近寄らず
- ③ 己の欲せざる所は人に施すなかれ
- ④ 郷に入れば郷に従え
- ⑤ 鶏口となるも牛後となるなかれ

9

七 本文の前半Bの内容と合致しているものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 自らの生き方を自由に選ぶことを評価する実存主義は、自己に誠実であることを重視するため、価値観の異なる人びとが互いに受容し合う環境を生み出すことになる。
- ② どのような環境で生まれ育ったかということではなく、いかに価値観を共有し、一緒に生きていけるかを意識することが、近代化に至るための出発点となる。
- ③ 人びとが衝突を避けよう心がけ、相手を否定せずに尊重する生き方を選択することが、共同体内の結びつきを強固なものにし、近代化の成立を促すことになる。

- ④ 価値多元社会では、人びとが生まれ育った環境における文化や伝統、宗教の違いを互いに受容し、異なる価値観の人びとが一緒に生きることが目指されている。

- ⑤ 社会のきまりは、既存の慣習に順応することを強制している面もあるが、価値観の異なる人びとに共同体を開いていくための前提条件として重要なものである。

10

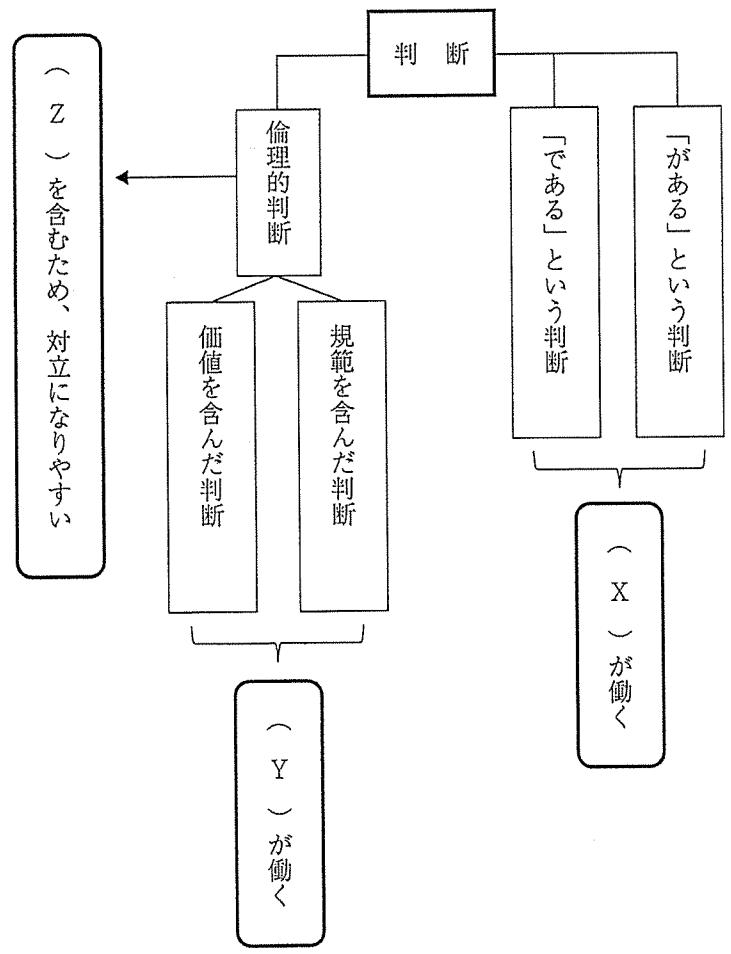
- 八 筆者は前半Cの文章に題を付けている。その題として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。
- ① 倫理と道徳は重なり合う
 - ② 倫理と道徳は同じである
 - ③ 倫理と道徳を区別する
 - ④ 倫理は道徳に依存する
 - ⑤ 倫理が道徳を成立させる

11

九 後半Aの文章から次の一文が欠落している。入るべき部分の直前の五字を抜き出せ。(解答用紙に記入せよ。)(句読点を含む。)

これに比べて、「よい／悪い」は一見そうみえないかもしれない。

十 次に示すのは、本文の後半A・後半Bの文章を読んだ生徒が作成した図である。(X)～(Z)にあてはまる語句は何か。文章中よりそれぞれ(X)・(Y)は漢字四字、(Z)は漢字七字で抜き出して答えよ。(解答用紙に記入せよ。)



十一 本文の後半Aの内容と合致しているものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 「がある」という判断は、現時点で目の前に存在しており、目で見、手で触ることができるとかどうかに基づいてなされるものである。

② 「である」という判断は、「特定の人種だけが差別されるべきではない」といった、明白な前提となるとききめに基づいてなされるものである。

③ 「である」「がある」という判断は、実証科学や論理的な学科を形成することはできるが、現実を創り出すための判断にはなりえないものである。

④ 「倫理はひとによつて違う」という表現は、ある人種の絶滅の正しさを主張する人間に対して倫理が反論できないことを示す警句だと捉えられる。

⑤ 倫理的判断は、論理的整合性に基づきつつ、人間の行為によつて善い世界を創り出していかうとする呼びかけを含んでいる。

12

十二 本文における筆者の論じ方の工夫についての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 冒頭に「よいひと」の定義を考えさせる問いを配置し、読者が興味を持って読み進められるように工夫されている。

② 日本語では倫理と道徳の区別が意識されにくいいため、語源を取り上げることで読者の理解を得られるように工夫されている。

③ 説明する際に的確で分かりやすい具体例を示すことで、読者が複雑な内容を把握しやすいように工夫されている。

④ アリストテレスなどの哲学者の言説を引用し、それに反論することを通じて筆者の論点が際立つように工夫されている。

⑤ 「もつともだ」「いやそうではない」といった表現をおりませ、筆者が直接語りかけてくるような感覚を読者にもたらすよう工夫されている。

13

【3】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(設問の都合で一部表記を改めた。)

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

一 傍線部ア、イ、ウの解釈として適切なものを①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ア
- ① 類くない
 - ② ゆゆしい
 - ③ 恐れ多い
 - ④ もったいない
 - ⑤ とらえどころのない
- イ
- ① どこで
 - ② どうして
 - ③ どうにかして
 - ④ いつのまにか
 - ⑤ どのようにして
- ウ
- ① 急に
 - ② 盛大に
 - ③ 入念に
 - ④ 慎重に
 - ⑤ おごそかに

ア
14
イ
15
ウ
16

二 二重傍線部 a「る」と文法的に同じものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 冬は、いかなる所にも住まる。
- ② 舎人が、寝たる足を狐に食はる。
- ③ 道知れる人もなくて、まどひ行きけり。
- ④ かの大納言、いづれの舟にか乗らるべき。
- ⑤ はじめて過ぎぬるかたの誤れる事は知らるなれ。

17

三 傍線部 A「思はざりつる昔」とは、どのような「昔」のことか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 仏の教えに逆らつて生きていた昔。
- ② 暗部山で仏道修行に励んでいた昔。
- ③ 肉も穀物も一切口にしなかつた昔。
- ④ 熊野に参詣したいと思っていた昔。
- ⑤ 俗世間について宮仕えをしていた昔。

18

四 空欄 B には二つの助動詞を活用させたものが入る。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① なむ ② にけり ③ ぬべし ④ なまし ⑤ ぬるなり

19

五 傍線部 C の解釈として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 修行をやり直したいと思う気持ちはどうしてよいかも分らないと思われるので。
- ② 美しいあて宮に心引かれる気持ちはどうしてよいかも分らないと思われるので。
- ③ 華やかな世界にあこがれる気持ちはどうしてよいかも分らないと思われるので。
- ④ 出家したことを悔やむ気持ちは止めることができな思われるので。
- ⑤ 仏道修行をつらく思う気持ちは止めることができな思われるので。

20

六 傍線部 D の歌に込められた思いとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① つらい憂き世を逃れるために山で仏道修行しているのに、どうしてこのように恋心に苦しまなければならぬのか。
- ② つらい憂き世を逃れるために山で仏道修行しているのに、どうして仏の教えに従うことを苦しく思ってしまうのか。
- ③ つらい憂き世で生きるために山で仏道修行しているのに、どうして俗世間での生活をなつかしく思ってしまうのか。
- ④ つらい憂き世で生きるために山で仏道修行しているのに、どうして仏から罰を受けるようなことをしってしまうのか。
- ⑤ つらい憂き世で生きるために山で仏道修行しているのに、どうして今でも恋心を捨てることができていないのか。

21

七 傍線部E「賜ふ」の主語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 舞人
- ② 忠こそ
- ③ 君たち
- ④ あて宮
- ⑤ 左大将正頼

22

八 「うつほ物語」は平安時代の作品であるが、平安時代の物語文学の変遷として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 竹取物語 ↓ 源氏物語 ↓ うつほ物語 ↓ とりかへばや物語
- ② 竹取物語 ↓ うつほ物語 ↓ 源氏物語 ↓ 狭衣物語
- ③ うつほ物語 ↓ とりかへばや物語 ↓ 源氏物語 ↓ 狭衣物語
- ④ 源氏物語 ↓ うつほ物語 ↓ 狭衣物語 ↓ とりかへばや物語
- ⑤ うつほ物語 ↓ 狭衣物語 ↓ 源氏物語 ↓ とりかへばや物語

23

【4】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(設問の都合で一部表記を改めた。)

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

一 二重傍線部 A ～ C の漢字の読みを、現代仮名遣いのひらがなで書け。(解答用紙に記入せよ。)

二 傍線部 a の理由を、玉を献上しようとした宋人はどう考えたか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 子罕は玉のすばらしさに気おくれしていると考えた。
- ② 子罕はもっと高価な贈り物を期待していると考えた。
- ③ 子罕は収賄の罪を受けることを恐れていると考えた。
- ④ 子罕は献上した玉が偽物だと判断していると考えた。
- ⑤ 子罕は何を返礼として与えるか迷っていると考えた。

三 傍線部 a の理由は何であったか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 玉を受け取れば、宋人は貧しくなり、自分も重臣の地位を追われることになるから。
- ② 玉を受け取れば、宋人は故郷に戻れず、自分も財産を失ってしまうことになるから。
- ③ 玉を受け取れば、宋人は金持ちにはなれず、自分も国を追放されることになるから。
- ④ 玉を受け取れば、宋人は命を奪われ、自分も貪欲さを抑えられないことになるから。
- ⑤ 玉を受け取れば、宋人は玉を失い、自分も慎ましい生き方を捨てることになるから。

25

四 傍線部 b をすべてひらがなで書き下したものとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。(傍線部の返り点・送り仮名を省いている。)

- ① もしもつてわれにあたへば
- ② もしもつてわれにくみせば
- ③ もつてわれにあたへるごとく
- ④ もつてわれにくみするごとく
- ⑤ なんぢもつてわれにあたふれども

26

五 傍線部 c を「人びと其の宝を有するに若かず」と読めるよう、返り点を施せ。(解答用紙の文に記入せよ。)

六 傍線部 d を次のように書き下し文にする際、1と2に入る語句を書け。(解答用紙に記入せよ。)(傍線部の送り仮名の一部を省いている。)

玉人1之が為に之を攻め2、

【5】 次の問いに答えよ。

一 次の話し合いについて説明した文章中の空欄（A）～（C）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

話し合いの形態にはいくつかの種類がある。例えば、（A）はある論題に対して二つのグループが対立して話し、最終的には聴衆がどちらの方がより説得力があったかを判定する。また（B）は、ある論題に対し立場が異なる意見を持つ人たちが登壇し話し合う。途中から聴衆も加わり質疑応答や意見交換などを行うことで深め合う。そのほか（C）は、ある論題について複数の専門家が見解を表明する。それに基づき聴衆が質問などを行うものである。

- | | | | | | | |
|---|---|-------------|---|-------------|---|-------------|
| ① | A | パネルディスカッション | B | シンポジウム | C | ディベート |
| ② | A | パネルディスカッション | B | ディベート | C | シンポジウム |
| ③ | A | シンポジウム | B | パネルディスカッション | C | ディベート |
| ④ | A | ディベート | B | パネルディスカッション | C | シンポジウム |
| ⑤ | A | ディベート | B | シンポジウム | C | パネルディスカッション |

27

二 次は、中学生三名によるグループでの話し合いの様子である。これを読んで、後の問いに答えよ。

アキコ では、次回の親子レクリエーションで行うイベントについて、私たちのグループの提案を
考えていきましょう。どんなイベントがよいと思いますか？

マサオ ぼくはバレーボールがよいのではないかと思います。理由は、体育館ならコートを二面取
れるので、多くの人が一度に参加でき楽しめるからです。また運動不足の解消にもなりま
す。（A）、親の中にはバレーボールができない人もいるかもしれませんのでそこが気
がかりです。

アキコ 分かりました。その他の意見はありますか？

ナツ 私は外でやる餅つきを思いました。なぜならこれは家ではなかなかできなく、このよ
うな機会がないと日本の伝統行事に親しめません。ぜひ親子レクリエーションでやってみ
たいです。これなら誰でも楽しく参加できます。

アキコ 私はよいアイデアが思いつきませんでした。他に意見がないようなら、それぞれの意見を
もう少し詳しく検討してみましようか。

マサオ バレーボールだったら、最初から体育館で行うので雨が降っても問題ない点が優れています。
餅つきのほうも雨でも大丈夫です。雨が降ったら体育館でやれば問題ありません。餅つき
は小学生のときの親子レクでも楽しくできました。餅をつくところを周りでみているだけ
でも楽しいし、もちろん食べる時にはみんなで参加できます。今回も間違いなく楽しいと
思います。

マサオ 確かに餅つきは楽しそうですが、杵と臼の準備が必要そうですね。(B) 食材の購入でお金がかかりそうです。これらについてはどうしますか？

ナツ そこまでは考えていませんでした。しかし、バレーボールも体育の授業で習っている私たちと違って、親たちみんなが参加できるか、けがをしないかなどが心配です。

マサオ そう言われるとそうですね。でも、どちらの案もメリットやデメリットがありそうです。では、これまでの議論を紙に書いて整理してみましよう。こんなふうになるでしょうか。これを見ながらもう少し議論してみましよう。

アキコ

	メリット	デメリット
バレーボール	(A)	・できない人 ・けが
餅つき	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではなかなかできない行事 ・日本の伝統文化に親しめる ・誰でも楽しめる ・雨が降ったら中でもOK 	<ul style="list-style-type: none"> ・白や杵の準備 ・食材の購入

ナツ こうやって書き出して整理したものを眺めてみると、ボールを用意するだけで準備がほとんどいらぬ点もバレーボールのメリットだと思えてきました。問題はバレーボールができない人たちへのフォローですが、なにかありませんか？

マサオ うーん。どうしたらよいかなあ。

アキコ バレーボールはどんな点が難しそうなのか、そのあたりから考えてみませんか？

マサオ バレーボールでは高いネットを越えるように打つのが難しいですね。それから、ボールが硬くてスピードも速いので練習をしないと取るのも難しいと思います。

ナツ それならネットを低くしてみるのはどうでしょう。いろいろな人がボールを返しやすくなります。

アキコ それはいいアイデアですね。ボールもバレーボールではなく、もっと柔らかい風船などを使ったら、速度もゆっくりになるのでさらに多くの人が参加できそうですね。

マサオ 風船なら、けがも心配ないですね。

ナツ そういうことであれば、私もバレーボールに賛成します。チームプレイで、親子がさらに仲良くなるというメリットもうまれそうですね。

アキコ 私も賛成です。(C)、私たちのグループは、ネットを低くしたうえでの風船バレーを提案しましょう。みなさんそれでよいですね。

マサオ・ナツ はい。

- (1) 空欄 (A) ~ (C) にあてはまる言葉の適切な組合せを①~⑤から選び、番号で答えよ。
- | | | | |
|---|-------|--------|--------|
| ① | A すると | B しかも | C それでも |
| ② | A ただし | B なぜなら | C それとも |
| ③ | A すると | B なぜなら | C それでは |
| ④ | A ただし | B しかも | C それでも |
| ⑤ | A ただし | B しかも | C それでは |

28

(2) 話し合いを表に整理した時点で、司会役のアキコが表中の空欄 (ア) に書いたものとして適切なものを①~⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 多くが一度に参加
- ・運動不足の解消
 - ・雨が降ってもOK
 - ・親子がさらに仲良くなる
- ② 多くが一度に参加
- ・雨が降ってもOK
 - ・準備がほとんどいらない
 - ・多くが一度に参加
 - ・運動不足の解消
 - ・雨が降ってもOK
- ③ 誰でも楽しく参加できる
- ・雨が降ってもOK
 - ・親子がさらに仲良くなる
 - ・多くが一度に参加
 - ・運動不足の解消
 - ・雨が降ってもOK
- ④ 準備がほとんどいらない
- ・雨が降ってもOK
 - ・準備がほとんどいらない

29

(3) この話し合いの流れを述べた文として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 最初に論題の提示がなされたうえで各自の意見が表明された。その意見の表明の際には、各自の利点だけが主張された。次に、それぞれの意見についてさらに詳しい検討が行われ、さらなる利点が補足説明された。そのあとで、互いが相手の立場の欠点を指摘しあった。そこで、ここまでの議論が整理され、バレーボールの困難さを克服するためのアイデアがいくつか出された。最終的にはネットを低くした風船バレーとなった。

② 最初に論題の提示がなされたうえで各自の意見が表明された。次に、それぞれの意見についてさらに詳しい検討が行われた。自分で主張した意見について、それぞれが利点と欠点を示した。議論が行き詰まりをみせたため、ここまでの論点や意見が口頭で整理された。これをもとにバレーボールのデメリットを改善するための工夫が生み出され、最終的に合意で決められた。

③ 最初に論題の提示がなされたうえで各自の意見が表明された。次に、それぞれの意見についてさらに詳しい検討が行われ、さらなる利点が補足説明された。そのあとで、互いが相手の立場の欠点を非難し合った。そこで、ここまでの議論が整理され、バレーボールのデメリットを克服するためのアイデアがいくつも出された。最終的にはネットを低くした風船バレーが多数決で選ばれた。

④ 最初に論題の提示がなされたうえで各自の意見が表明された。次に、それぞれの意見についてさらに詳しい検討が行われた。その際、さらなる利点が補足説明され、さらに相手の立場の欠点が指摘された。そこで、ここまでの議論が表に整理された。これをもとに、バレーボールの困難さを克服するためのアイデアがいくつか出され、最終的に合意するに至った。

⑤ 最初に論題の提示がなされたうえで各自の意見が表明された。その意見の表明の際には、各自の利点が主張された。次に、それぞれの意見についてさらに詳しい検討が行われ、さらなる利点や欠点が論じられた。そこで、ここまでの議論が表に整理された。これにもとづき、餅つきに焦点を絞って議論が進められたが、最終的には風船バレーが提案され全員が納得した。

【6】 次の問いに答えよ。

一 中学校の書写の指導について、後の問いに答えよ。

(1) 漢字の行書と、それに調和した仮名の書き方を理解させることが大切となるが、その漢字の行書の特徴を述べた文章中の空欄 (A) ～ (C) にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

点画が (A)、省略されたり、さらには (B)、(C) が変化したりする場合がある。

- | | | | | | | |
|---|---|----------|---|---------|---|------|
| ① | A | 丸みを帯びたり | B | 明確化されたり | C | 大きさ |
| ② | A | 丸みを帯びたり | B | 連続したり | C | 方向や形 |
| ③ | A | 丸みを帯びたり | B | 連続したり | C | 大きさ |
| ④ | A | 直線的になったり | B | 明確化されたり | C | 大きさ |
| ⑤ | A | 直線的になったり | B | 連続したり | C | 方向や形 |

31

*参考 行書の例

学校

(2) 次の1～3は毛筆の活用に配慮して行書を指導する際に、生徒に身に付けさせたいポイントを示したものである。空欄 (ア) (イ) にあてはまる言葉として適切なものを①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | (ア) の整え方 |
| 2 | 運筆の際の筆圧のかけ方 |
| 3 | (イ) を意識した点画のつながり |

- ① 目的 ② 点画 ③ 大筆 ④ 筆脈 ⑤ 字形

ア
32
イ
33

二 学習指導要領について、後の問いに答えよ。

(1) 次は、「中学校学習指導要領」(平成二十九年三月 文部科学省)における第三学年の思考力、判断力、表現力等の内容の一部である。空欄(A)～(C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の(A)を確認し、伝えたいことを明確にすること。

イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。

ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に(B)したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。

エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。

オ(C)などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。

- | | | | | | | |
|---|---|---------|---|----|---|-------|
| ① | A | 客観性や信頼性 | B | 批評 | C | 論理の展開 |
| ② | A | 普遍性や強調性 | B | 批評 | C | 主張の展開 |
| ③ | A | 客観性や信頼性 | B | 引用 | C | 論理の展開 |
| ④ | A | 普遍性や強調性 | B | 引用 | C | 主張の展開 |
| ⑤ | A | 客観性や信頼性 | B | 引用 | C | 主張の展開 |

(2) 次は、「高等学校学習指導要領」(平成三十年三月 文部科学省)における現代の国語に関する目標の一部である。空欄(A)～(C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) (A)に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で(B)を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって(C)に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

- | | | | |
|---|--------|---------|------|
| ① | A 実社会 | B 伝え合う力 | C 読書 |
| ② | A 実社会 | B 言語力 | C 読書 |
| ③ | A 言語生活 | B 伝え合う力 | C 国語 |
| ④ | A 言語生活 | B 言語力 | C 国語 |
| ⑤ | A 実社会 | B 伝え合う力 | C 国語 |

(3) 次は、「高等学校学習指導要領解説 国語編」(平成三十年七月 文部科学省)における文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することに関する文章の一部である。空欄(A)～(D)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色は、いずれも、(A)という内容ではなく、(B)という形式に関わっている。これらについて捉えた上で評価することを求めている。これらを評価する際には、文章が書かれた目的に照らし、その(C)が適切なものであるか、自分の知識や経験に照らし合わせて優れた工夫といえるかなどについて検討することが必要である。例えば、しみじみとした情感を伝えることを目的として書かれた文章の場合には、その情感をより効果的に読み手に伝えるために、(D)や段落の組立てなどがどのように工夫されているか、その情感を具体的に伝えるために、臨場感を醸し出すような言葉が選択されたり表現の技法が的確に用いられているかなどについて注意することが大切となる。

- | | | |
|---|-------------------|-------------------|
| ① | A 何が書かれているか | B 内容がどのように書かれているか |
| | C 目的 | D 伏線 |
| ② | A 内容がどのように書かれているか | B 何が書かれているか |
| | C 効果 | D 伏線 |
| ③ | A 内容がどのように書かれているか | B 何が書かれているか |
| | C 目的 | D 書き出し |
| ④ | A 何が書かれているか | B 内容がどのように書かれているか |
| | C 効果 | D 伏線 |
| ⑤ | A 何が書かれているか | B 内容がどのように書かれているか |
| | C 効果 | D 書き出し |

受験番号

④ 中高 国語科 解答用紙

六 五 一 ④

1
2

不 ト
若 カ
人 ビト
有 スルニ
其 ノ
宝 ヲ

A
B
C

④小計

十 九 二 一 ②

Z	Y	X

d
e
g

a
b
c
f

②小計

計